

# 農産物の放射能濃度測定結果(12月2日)

測定日	品目		市町村	地区名	生産者名	核種 単位(Bq/kg)					規制値		分析機関
						I-131	Cs-134	Cs-136	Cs-137	Cs合計	I-131	Cs合計	
1 11/28	ほうれん草	露地	つくば市	手代木	梶浦	非検出	非検出	非検出	非検出	-	2000	500	茨城大
2 11/28	小松菜	露地	つくば市	手代木	梶浦	非検出	非検出	非検出	非検出	-	2000	500	茨城大
3 11/30	カブ(あやめ雪)	露地	つくば市	手代木	梶浦	非検出	非検出	非検出	非検出	-	2000	500	茨城大
4 12/1	柿チップス	露地	石岡市	小幡	成田	非検出	非検出	非検出	39±7	39±7	2000	500	茨城大

※測定方法 茨城大学「高純度ゲルマニウムガンマ線スペクトロメーターを使用」 検出下限0Bq/kg

「柿チップス」から39±7Bq/kg(最大で46Bq)のセシウムが検出されました。  
 ちなみに、この「柿チップス」100gを食べた場合の影響を計算しますと、  
最大で46×0.1×0.013(Cs137の換算係数)=0.06μSVになります。  
 原発事故とは関係ない普通の時、食品による内部被ばくを410μSV/年受けています。  
 年間の被ばく量より**0.015%**増える可能性があります。  
 (正確に言うところこれは、預託線量での計算ですから、今後50年間の合計で0.06μSvになりますので、健康への影響は考えられません。)

測定責任者:株式会社みずほ 生産研究部長 高橋広樹(090-2442-1459)